



国 監 告 第 9 号

地方自治法第199条第1項及び第5項の規定に基づき実施した、例月出納検査（随時監査）に係る監査結果を、同条第9項の規定により別紙のとおり公表する。

平成23年10月4日

国立市監査委員 高 橋 雅 幸

国立市監査委員 小 口 俊 明

例月出納検査（随時監査）監査結果

質問事項

1. 随時監査

(1) 種類

地方自治法第199条第1項及び第5項

(2) 概要

ア. 実施期間

(ア) 事前調査

平成23年9月5日(月)から平成23年9月13日(火)まで

(イ) 実施

平成23年9月20日(火)

イ. 対象部局

(ア) 生活環境部下水道課

(3) 対象事項及び範囲

ア. 対象事項

平成23年度国立市下水道事業特別会計（歳出）

平成22年度国立市南部中継ポンプ場施設補修工事（その2）

予算科目 01.01.02.15 (04)

支出額 5,460,000円

イ. 対象範囲

(ア) 財務に関する事務の執行等

(イ) 一般行政事務の執行及び事務事業の経済性、合理性、正確性等

(4) 手続き

ア. 実施通知 平成23年9月5日(月)

イ. 資料提出期限 平成23年9月13日(火)

ウ. 事前調査 事務局による調査(前記のとおり)

エ. 実施 監査委員による監査(前記のとおり)

(ア) 先に提出された資料に基づき、監査対象部局より対象事項の概要説明を受け、その後、質疑及び関係書類の監査を実施した。

(5) 監査の着眼点

共通項目

ア. 予算の執行は、計画的かつ効率的に行われているか。

- イ．予算の執行の手続きは適正か。
- ウ．決裁は、定められた手続きを経ているか。

個別項目

- ア．工事の施工にあたり、その着手及び完成の時期は計画に適合しているか。
- イ．工事に係る入札・契約事務の執行体制は合理的に確立され、その機能は十分果たしているか。
- ウ．請負業者の選定基準、選定方法は適正か。
- エ．工事に係る監督、検査体制は合理的に確立され、その機能は十分に果たしているか。
- オ．工法、資材の選択が、適切に行われているか。
- カ．工事による騒音、振動等の防止に努めているか。

(6) 結果

ア．概評

平成 22 年度国立市南部中継ポンプ場施設補修工事（その 2）について監査したところ、概ね適正に処理されていると認められた。

しかし、一部に検討を要する事項が見受けられるため、意見として付す。

イ．意見

【南部中継ポンプ場設備機器類の修繕計画について】

この施設設備は、平成元年に使用開始以来、すでに 22 年が経過しており、主力機器である圧送ポンプや非常用発電機のオーバーホールなど多額の費用を要する設備機器類は計画化し予算化してはいるが、今回更新した電気設備機器のように、経年劣化による交換を考慮すると、その時期や費用を明確化するためにも、点検結果報告書を参考にするなど修繕計画の整備が必要と考える。

以上